

## 2 予算の執行状況

### (1) 収益的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

収益的収支に係る予算の執行状況は、次のとおりである。

#### ア 収益的収入の予算執行状況

収入

(単位:千円・%)

区分	予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の増減	執行率
<b>水道事業収益</b>	<b>4,853,208</b>	<b>4,828,701</b>	<b>△ 24,507</b>	<b>99.5</b>
営業収益	4,648,331	4,608,010	△ 40,321	99.1
営業外収益	204,675	214,233	9,558	104.7
特別利益	202	6,458	6,256	3,197.0

(備考) 決算額には、仮受消費税及び地方消費税 322,199千円を含む。

営業収益の内訳は、給水収益（水道料金）45億6,181万1千円及びその他営業収益4,619万9千円となっている。営業外収益には、本年度から、長期前受金戻入<sup>(注)</sup>1億9,485万3千円が計上されている。

(注) 1 長期前受金： 減価償却を行うべき固定資産の取得又は改良に充てるための補助金等の交付を受けた場合における、その交付を受けた金額に相当するもの

2 長期前受金戻入： 償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金等について負債に計上した長期前受金のうち、減価償却見合い分を収益化したもの

#### イ 収益的支出の予算執行状況

支出

(単位:千円・%)

区分	予算現額	決算額	不用額	執行率
<b>水道事業費用</b>	<b>4,454,747</b>	<b>4,194,013</b>	<b>260,734</b>	<b>94.1</b>
営業費用	4,006,651	3,781,771	224,880	94.4
営業外費用	224,337	212,964	11,373	94.9
特別損失	203,759	199,278	4,481	97.8
予備費	20,000	0	20,000	0

(備考) 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 141,392千円並びに消費税及び地方消費税納付額 59,703千円を含む。

営業費用は、原水及び浄水費13億4,760万9千円（うち受水費<sup>(注)</sup>8億5,262万1千円を含む。）や、減価償却費12億3,333万9千円が執行額の大きなものとなっている。不用額の主な要因は、職員数、退職給付費、固定資産除却費などが見込額を下回ったことである。

営業外費用は、企業債に係る支払利息1億5,248万3千円、特別損失は、新会計基準の適用により計上された退職給付費1億3,900万円がそれぞれ主なものである。

(注) 受水費： 本年度分の福岡県南広域水道企業団受水料金（66円×12,592,500m<sup>3</sup>+9円×6,684,545m<sup>3</sup>=891,266千円）から、平成26年度一般会計繰出還元金38,912千円（企業団設立に伴う一般会計の出資金の一部が「一般会計繰出金の還元方法に関する規則」に基づき還元されるもの）を差し引いたものに、大木町及び筑後市受水料金267千円を加えたものである。

(2) 資本的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

資本的収支（設備投資など、支出の効果が翌年度以降に及び、将来的な収益に対応することとなる取引などの収支）に係る予算の執行状況は、次のとおりである。

ア 資本的収入の予算執行状況

収入

(単位:千円・%)

区 分	予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の増減	執行率
<b>資本的収入</b>	<b>2,700,103</b>	<b>2,536,644</b>	<b>△ 163,459</b>	<b>93.9</b>
企業債	1,889,100	2,007,700	118,600	106.3
補助金	384,478	282,850	△ 101,628	73.6
負担金	85,172	89,914	4,742	105.6
加入金	91,295	132,629	41,334	145.3
固定資産売却代金	565	1,029	464	182.1
出資金	249,493	22,522	△ 226,971	9.0

(備考) 決算額には、仮受消費税及び地方消費税 12,386千円を含む。

資本的収入の主なものは企業債であるが、このうち7億9,100万円は前年度に起債前借として収入している。実収入額は12億1,670万円であり、これは、富本地区整備、北部配水本管改良、浄水施設等の耐震化などの前年度からの繰越事業の財源に充てる分2億1,670万円及び配水本管整備事業などの本年度事業の財源に充てる分10億円となっている。

イ 資本的支出の予算執行状況

支出

(単位:千円・%)

区 分	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率
<b>資本的支出</b>	<b>4,525,849</b>	<b>3,109,032</b>	<b>1,176,200</b>	<b>240,617</b>	<b>68.7</b>
建設改良費	3,793,342	2,440,091	1,176,200	177,051	64.3
企業債償還金	703,400	668,941	0	34,459	95.1
補助金返還金	9,107	0	0	9,107	0
予備費	20,000	0	0	20,000	0

(備考) 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 160,113千円を含む。

資本的支出は、建設改良費のうち工事請負費21億3,856万4千円や、企業債償還金6億6,894万2千円が主なものとなっている。

建設改良費の繰越額は、主に浄水施設の耐震化工事を翌年度に繰り越したことによる。

ウ 資本的収支の不足額

本年度の資本的収支における不足額は、以下のとおりとなる。（補てん状況については、「(3) 資本的収支不足額の補てん状況」を参照）

$$\begin{array}{r} \text{資本的収入額} \\ (2,536,644 \text{ 千円} \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{25年度に前借した企業債の額} \\ - 791,000 \text{ 千円}) \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{資本的支出額} \\ - 3,109,032 \text{ 千円} \end{array} \quad = \quad \begin{array}{r} \text{資本的収支不足額} \\ \triangle 1,363,388 \text{ 千円} \end{array}$$

(3) 資本的収支不足額の補てん状況

資本的収支不足額の補てん状況は、次表のとおりである。

資本的収支不足額の補てん財源額及び補てん額

(単位:千円)

区 分	補てん財源額	補てん額	残 額
消費税及び地方消費税資本的収支調整額〔当年度分〕	121,881	121,881	0
減債積立金	600,000	600,000	0
損益勘定留保資金〔過年度分〕	1,033,826	641,507	392,319
<b>計</b>	<b>1,755,707</b>	<b>1,363,388</b>	<b>392,319</b>

(備考)

- 1 消費税及び地方消費税資本的収支調整額： 仮受消費税額等と仮払消費税額等の差額から特定収入見合消費税額を除いたものを、資本的収支予算の調整額として会計上別途内部留保するもの。
- 2 損益勘定留保資金： 実際の支出が行われずに帳簿上計上される費用の合計額。内部留保資金にできる。